

親鸞教學

現生正定聚と浄土の慈悲 (二) 井上尚実 1
——重なり合う「証」——

「宿業」の思想的意義について
の一考察 藤元雅文 25

清沢満之手沢本『ティーチング、
オブ、エピクテタス』の
書入れに関する一考察 川口 淳 42
——安藤州一の言葉を導きとして——

衆生に自覚を開く名と相 安田理深 65
——願生論 (六) ——

大乘仏教の歩み 木越 康 77
——親鸞の眼を通して——
龍樹①

113

大谷大学真宗学会

浄土の眞実信心の人は、この身こそあさましき不浄造惡の
身なれども、心はずでに如来とひとしければ、如来と申す

こともあるべしと知らせ給え。

〔御消息集〕（善性本）

大谷大学真宗学会会則

(名称及び事務所)

第一条 本会は大谷大学真宗学会と称し、事務所を大谷大学（京都市北区小山上総町二二）に置く。

(目的)

第二条 本会は真宗学の研究及び公開を目的とする。

(事業)

第三条 本会は次の事業を行う。

- (一) 大会
- (二) 例会
- (三) 機関誌『親鸞教学』の刊行
- (四) 研究旅行
- (五) その他必要な事業

(会員)

第四条 本会は次の会員をもって組織する。

- (一) 正会員 大谷大学真宗学専攻の大学院及び文学部学生
- (二) 特別会員 大谷大学真宗学科教員
- (三) 賛助会員 本会の趣旨に賛同する者

(役員)

第五条 本会に次の役員を置く。

(一) 会長

(二) 評議員

(三) 事務局委員

第六条 会長は特別会員より互選し、本会を代表して会務を統理する。任期は一年とする。但し再任を妨げない。

第七条 評議員は正会員より互選し、本会の運営・活動に必要な事項を審議する。委員の任期は一年とする。ただし再任を妨げない。

第八条 事務局委員には、特別会員がこれにあたり、会務・会計・『親鸞教学』編集等の事務を掌理する。委員の任期は一年とする。ただし再任を妨げない。

二、『親鸞教学』編集委員は、掲載論文の査読等、学術研究の推進と、その成果の公開に必要な業務を行う。

(経費)

第九条 本会の経費は会費及びその他の収入による。会費については別に定める。

(年度)

第十条 本会の年度は毎年四月一日に始

まり、翌年三月三十一日に終る。

(規約の変更)

第十一条 本会則の変更は評議員の会議に附し、総会の二分の一以上の承認を受けることを必要とする。但し総会の成立は特別会員・正会員数の三分の一以上の出席を必要とする。

附則① この会則は、一九六二（昭和三十

十七）年四月一日より実施する。

② 二〇〇六年十一月八日一部改正。

『親鸞教学』掲載原稿の学術情報リポジトリでの公開許諾について

『親鸞教学』に掲載された原稿（論文、講演録等）は、大谷大学学術情報リポジトリ (<https://otani.repo.nii.ac.jp>) のコンテンツとして必要不可欠のものであり、創刊号に遡って電子化して公開することを計画しております。

公開にあたり、著作権者の許諾を得ることが必要となっております。つきましては、公開の許諾をいただきたくお願い申し上げます。この公開の許諾は以下の二点について許諾をいただくものであり、著作権を委譲していただくものではありません。

- ・『親鸞教学』を電子化すること
- ・電子化した『親鸞教学』を学術情報リポジトリで公開すること

以上の二点につきまして、許諾されない原稿がある著作権者の方は2021年9月30日までに下記の連絡先にお申し出ください。連絡がない場合は、許諾されたものとして処理させていただきます。

なお、学術情報リポジトリ公開開始後におきましても、著作権者から指示があった場合は、当該原稿の公開を停止いたします。

大谷大学真宗学会 会長
三 木 彰 円

【連絡先】

〒603-8143 京都市北区小山上総町

大谷大学真宗学会

Tel : 075-411-8161 (大谷大学教育研究支援課)

Fax : 075-411-8427 (大谷大学教育研究支援課)

執筆者紹介

井上尚実	本学教授
藤元雅文	本学准教授
川口淳	元本学助教・現同朋大学 仏教文化研究所員
木越康	本学教授

2021年3月24日 印刷
2021年3月31日 発行

親鸞教学 第113号 定価:本体 1,000円(税別)

編集
発行

〒603-8143 京都市北区小山上総町22

大谷大学真宗学会

親鸞教学編集部

発行人 三木彰円

大谷大学真宗学会 振替01060-1-8225

発売

〒604-8091 京都市中京区寺町通三条上る

文栄堂書店

振替 01080-4-2948

印刷

〒601-8133 京都市南区上鳥羽薬田29

中村印刷株式会社

電話 075-(682)-7666番

SHINRAN KYOGAKU

The Otani Journal of Shin Buddhism

Vol. 113

親鸞教學

March 2021

CONTENTS

ARTICLES

- The Company of the Rightly Settled in This Life
and Pure Land Compassion (Part 2):
Overlapping Realizations INOUE Takami
- A Consideration of the Philosophical Significance
of Past Karma FUJIMOTO Masafumi
- A Consideration of the Handwritten Notes
in Kiyozawa Manshi's Copy
of *The Teachings of Epictetus*:
In Light of Andō Shūichi's Statements KAWAGUCHI Atsushi
-

LECTURE SERIES

- The Name and Form That Brings
about Self Awareness in Sentient Beings:
Discussions of the Aspiration for Birth (18) YASUDA Rijin
- The Development of Mahayana Buddhism
Through Shinran's Eyes:
Nāgārjuna (Part 1) KIGOSHI Yasushi
-

THE SHIN BUDDHIST SOCIETY
OTANI UNIVERSITY
KYOTO, JAPAN

親鸞
教学

第一一三号

二〇二二年三月三日発行

大谷大学真宗学会